

○凡 例○

本書では次のように省略した。

1. 経営体系（開設者）について

国	国立	国大法	国立大学法人
県・市・町・村（組合）及び（広域連合）、企業団		県市町村が構成する一部事務組合立、広域連合立	
独法	独立行政法人	地方独法	地方独立行政法人
国研	国立研究開発法人	共済	国家公務員共済組合連合会
生協	医療生活協同組合連合会	学共済	公立学校共済組合
厚生連	厚生農業協同組合連合会	国保	国民健康保険組合
私学共済	日本私立学校振興・共済事業団	国保連	国民健康保険団体連合会
健保	健康保険組合及びその連合会	全社連	全国社会保険協会連合会
済	社会福祉法人恩賜財団済生会	個	個人
医社	医療法人社団	医財	医療法人財団
社団	（公益・一般）社団法人	社福	社会福祉法人
学	学校法人	宗	宗教法人
一般財団厚生団	厚生年金事業振興団	医（特定）	特定医療法人

※法人についての開設年月は組織変更時の年月とした（一部創立時もあり）。

2. 診療科目について

総合	総合診療科	内	内科	呼	呼吸器科
消	消化器科	胃	胃腸科	循	循環器科
小	小児科	精神	精神神経科	精	精神科
神	神経科	神内	神経内科	肝	肝臓科
腎	腎臓科	糖尿	糖尿病科	内視	内視鏡科
内分泌	内分泌科	心内	心療内科	血内	血液内科
脳内	脳神経内科	代謝内	代謝内科	透析内	人工透析内科
膠原病	膠原病科	リウマチ	リウマチ科	アレルギー	アレルギー科
外	外科	整	整形外科	スポーツ整	スポーツ整形外科
形外	形成外科	美外	美容外科	脳外	脳神経外科
心臓外	心臓血管外科	呼外	呼吸器外科	消外	消化器外科
腹外	腹部外科	胸外	胸部外科	小外	小児外科
皮泌	皮膚泌尿器科	皮	皮膚科	泌	泌尿器科
性	性病科	肛	肛門科	産婦	産婦人科
産	産科	婦	婦人科	眼	眼科
耳鼻咽喉	耳鼻いんこう科	気食	気管食道科	放	放射線科
手術	手術部	輸血	輸血部	救急	救命救急科
麻	麻酔科	歯	歯科	口腔外	歯科口腔外科
矯正	矯正歯科	小歯	小児歯科	リハビリ	リハビリテーション科

3. 医療サービス・施設について

OT	作業療法	精OT	精神科作業療法	PT	理学療法
ST	言語聴覚療法	ADL	日常生活動作	SST	社会生活技能訓練
検査	検査室	ICU	集中治療室	H.C.U	術後回復室
C.C.U	冠動脈疾患監視病室	N.I.C.U	新生児集中治療室	M.F.I.C.U	母体胎児集中治療室
L.D.R	陣痛、分娩、回復室	健管	健康管理	ドック	人間ドック
精デイ・ナイトケア	精神科デイケア・ナイトケアサービス	精デイケア	精神科デイケアサービス	通所リハビリ	デイケアサービス
精ナイトケア	精神科ナイトケアサービス	通所リハビリ	精神科訪問看護	精訪問看護	精神科訪問看護
通所介護	デイサービス				

訪問介護 ……ホームヘルプ・ヘルパーステーション
グループホーム ……認知症対応型共同生活介護
老健 ……介護老人保健施設

ケアハウス ……介護利用型軽費老人ホーム
特養 ……特別養護老人ホーム

4. 医療機器について

ヘリカルCT ……高速らせんCT
SPECT ……シングルフォトンエミッションCT
RI ……ラジオアイソトープ
PET ……ポジトロンCT
デジタルラジオグラフィー ……X線デジタル画像装置
温熱療法 ……ハイパーサーミア装置
リニアック ……高エネルギーX線治療装置
高温治療法・前立腺レーザー照射 ……前立腺肥大治療装置
コバルト照射 ……コバルト遠隔照射装置

DSA ……デジタルサブトラクション血管造影
シネアンギオ ……冠動脈造影撮影装置
イマトロン ……電子走査型CT
MRI ……磁気共鳴画像装置
MRA ……MRIによる非侵襲的脳血管撮影
マンモ ……マンモグラフィー
CAPD ……持続携帯型腹膜透析
PTCA ……経皮的冠動脈形成術

5. 救急告示病院とは、一定の基準に該当する病院であり、都道府県知事が救急病院として告示した病院を救、**特定機能病院**(高度な医療を提供するとともに、医療技術の開発及び高度医療に関する研修を実施する能力を備え、厚生労働大臣が承認したものを)を機、**地域医療支援病院**(病床規模200床以上で、紹介患者に対する医療提供として地域医療支援紹介率80%以上、紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上、紹介率50%以上かつ逆紹介率70%以上のいずれかを満たすもの)を援、さらに医療機能を高め、住民の理解と信頼を獲得するために設けられた、第三者による評価を行う**(公財)日本医療機能評価機構**の認定を受けた病院(平成30年7月6日付)を評とそれぞれ省略して表記した。

ISO9001とは、国際標準化機構(ISO)で審議・作成された、品質マネジメントシステム(医療サービス等)における国際的な制度。現在は規制により、9001認定のみ掲載。

6. 疾患名・手術件数、おもな専門診療には、各病院から回答のあったおもな手術件数(検査含む)及び専門治療、専門(特殊)外来を記載した。以下は最近多数回答のため略して記した。

SAS ……睡眠時無呼吸症候群

NST ……栄養サポートチーム

7. 施設基準等は、施設基準認定及び専門施設(病院)等を記載し、病棟(施設)は以下のとおり省略した。

緩和ケア ……緩和ケア病棟入院料
障害者施設 ……障害者施設等入院基本料
特殊疾患 ……特殊疾患病棟入院料
精神応急入院 ……精神科応急入院施設管理加算
精神急性期治療 ……精神科急性期治療病棟入院料
認知症治療 ……認知症治療病棟入院料
エイズ拠点 ……エイズ治療拠点病院
(都道府県・地域)がん診療連携拠点 ……がん診療連携拠点病院

地域包括ケア ……地域包括ケア病棟入院料(医療管理料)
回復期リハビリ ……回復期リハビリテーション病棟入院料
特殊疾患入院施設 ……特殊疾患入院施設管理加算
精神救急 ……精神科救急入院料
精神療養 ……精神療養病棟入院料
脳血管等 ……脳血管疾患等リハビリテーション
集団 ……集団コミュニケーション療法リハビリテーション

開放型病院(共同指導料)とは、病診連携により病院の施設・設備を開放し、かかりつけ医(登録医)が紹介した患者を、病院担当医と共同で診療できる保険医療機関。**開放病床**とは、病診連携により開放された入院病床。

※ 参考資料：九州厚生局届出受理医療機関名簿(平成30年7月2日及び、最新データ)

8. 救急・災害対策医療は、救急並びに災害時の医療体制を記した。

DMAT ……災害派遣医療チーム

DPAT ……災害派遣精神医療チーム

9. 患者数は在院(全病床)・外来(全診療科)を対象に日単位で表し、**平均在院日数**は病床種別ごとに記載。

10. 病床数のうち、**無記入**は**一般病床**、**療養病床**は**療**(さらに療養病床を介護型と医療型に分け**介、医**)で明記してあるが、一部は合算で記載)、**精神病床**は**精**、**結核病床**は**結**、**感染症病床**は**染**と略した。

11. 医療従事者数の医師・歯医師数は、常勤・非常勤(常勤換算)の人数を合算して記載している。

12. 役職、最終学歴について

院長 ……病院長
研修医 ……臨床研修医
M.S.W ……医療ソーシャルワーカー

副院長 ……副病院長
検査技師 ……臨床検査技師
P.S.W ……精神医学ソーシャルワーカー

レジデント ……専門医学実習生
放射線技師 ……診療放射線技師
大院 ……大学院

13. 医師の**専門・得意分野**、**学会認定専門医**等を役職・担当職・最終学歴等の下に記載した。専門医認定の記載は、現在63学会認定（平成25年6月1日発表）のみである。また、看護師の専門性資格（日本看護協会認定専門看護師、認定看護師）についても一部記載してある。名称は以下のとおり省略した。

(例) 総合内科専門医認定…日本内科学会認定総合内科専門医 I.C.D …… 感染制御認定医
身体障害者福祉法指定医（心臓） …… 身体障害者福祉法に基づく心臓機能障害認定医
がん看護専門認定 …… がん看護専門看護師
がん化学療法看護認定 …… がん化学療法看護認定看護師

14. **特色など**は、病院の特色または専門性を表すものとして、得意分野や病院の方向性などを示した。その他に診療所や社会復帰施設など**併設・関連施設**を記載した病院もある。

この病院情報は、平成30年7月までの調査資料に基づき編集した。